JTUC

# 連合高知

<発行所>連 合 高 知
日本労働組合総連合会高知県連合会
〒780-0870 高知市本町４丁目1-32
こうち勤労センター内
TEL(088)824-5111
FAX(088)824-3002
<発行責任者>間 嶋 祐 一
No.97 2015年１月１日

## ２０１５年 あけましておめでとうございます

皆さん、明けましておめでとうございます。

日頃は、連合高知の運動に対してご理解・ご協力を戴き心から感謝申し上げます。

さて、昨年末の第47回衆議院議員選挙は、閣僚の相次ぐ不祥事や野党の連携により、国会運営が行き詰まるなか、消費税増税延期に対して国民の信を問うとして施行された解散総選挙でしたが、実際は政権をさらに延命することを目的とした大義なき選挙でした。

結果は、与党が衆議院の2/3を超える議席を獲得し、私たちにとって大変厳しい結果となりました。この結果が強権的な政権運営にますます拍車がかかることになるのではないかとの心配とともに、強い警戒心をもたなくてはなりません。

すでにスタートしている2015春季生活闘争は、賃金引上げ、時短、政策制度要求を３本柱として、取り組みの強化をはかっているところです。

2014春季生活闘争では、全構成組織の頑張りによりこれまで長きにわたり一定水準にはりついていた賃金レベルを引き上げることができました。2015春季生活闘争では、このことを更に前進させる必要があります。あわせて「休み方」や「働き方」を改革をするなかで長時間労働の是正をはかる必要があります。また、現下の政治状況のなかでの労働者保護ルール改悪についても、働く場の現状及び私たちの考え方を多くの人に理解をしていただき、まさに共感のもてる闘いを構築していかなければなりません。

**共感のもてる闘いを！**

今年は、４年に一度の統一地方選挙の年です。厳しい政治情勢を転換させていくためにも、志を同じくする私たちの代表を数多く地方議会に送り込んでいくことが大切です。

今年も厳しい環境のなか、難課題が山積していますが、皆様方のいっそうのご理解、ご協力をお願いし、新春のあいさつに代えます。

連合高知第26回臨時大会

# 運動方針の補強を決定

連合高知は11月21日、三翠園で第26回臨時大会を開催した。この大会は中間年大会にあたることから、第25回定期大会（2013/11/22）からの１年間の活動総括と運動方針の補強をおこなった。

開催にあたり間嶋会長は「本日、安倍総理は大義のない解散を行うとしている。これは、自民党の長期政権を築くための保身であり、党利党略を優先した国民不在の身勝手な解散だ」と批判。そのうえに「このような政権が続くことは私たちが求める働くことを軸とする安心社会の実現には程遠いものだ。この２年間、暴走してきた安倍政権をこの総選挙で打倒しよう」と呼びかけた。

来賓には連合本部小川裕康副事務局長をはじめ多くの方々に参加いただき、それぞれの立場からのあいさつをいただいた。

活動報告の総論では、ⅰ）「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンの通年的取り組み、ⅱ）月例賃金の引き上げにこだわった2014春季生活闘争の取り組み、ⅲ）1000万連合実現に向けた組織拡大の取り組み、ⅳ）「働くことを軸とする安心社会」実現に向けた連合高知の政策要求の取り組み、特に、「高知市公共調達基本条例の一部を改正する条例」可決の取り組み、を中心に報告したうえ、各論ごとの総括をおこなった。

第２号議案「2014 ～ 2015年度運動方針の補強」については、７つの各論ごとに向こう１年間の方針を補強提案し、満場一致で可決された。

その他の主な議案では、第３号議案「2015春季生活闘争について（基本構想）」、第４号議案「第18回統一地方選挙の取り組みについて」、第５号議案「2015年度予算（案）」、第７号議案「第47回衆議院選挙の取り組みについて」を提起し、全体で確認された。

最後に「連合高知は、安倍政権と真っ向から対決し、“働くことを軸とした安心社会の実現”を掲げ、働く者を犠牲にしたトリクルダウン型政策や国民不在の強権政治などの転換と“働く者・生活者”の立場に立った政治の実現に向けて組織の総力をあげてたたかっていく」とする大会宣言を採択し、間嶋会長の団結ガンバローで定期大会を締めくくった。

**《質疑・討論》（○質疑・●答弁）**

**【活動報告について】**

○白木代議員（私鉄総連）

高知市の政策制度要求と議員の懇談会はこれまで東地協で行ってきた。今回、連合高知で行った理由と経過の説明を願う。また、今後はどういうやり方をしていく考えなのか聞きたい。

●折田事務局長

高知市は中核市であり県に準じた権限があることや、高知市との交渉が他の市町村への波及も大きいことから今回のやり方となった。今後の扱いは組織財政検討委員会で「連合高知は労働局と県、地協は各市町村に要求していく。高知市については合同で行う」と整理し、執行委員会でも確認している。議員懇談会についても高知市の政策要求を合同で行うことから議員懇も同じく合同で行うことにしたい。

**【運動方針の補強について】**

○中山代議員（自治労）

男女平等参画社会の実現に関してだが、女性の

会議の中で結婚退職など切実な職場の実態が多く出されている。こうした状況をしっかりと認識した第４次男女平等参画推進計画の取り組みをお願いしたい。また、障がい者の問題では、国や県で雇用率がいわれているが、各企業の中でもこれが進むよう組合の取り組みを願う。特に、雇用後、障がい者が孤立しないよう合理的配慮のある職場環境づくりを進めてほしい。

●折田事務局長

第４次男女平等参画推進計画については、数値目標だけでなく行動目標で雇用の平等や制度（育児・介護等）の充実と実効性をあげていくことなどを課題にしている。また、男女平等の課題は連合の“７つの各論”のひとつであることから、運動の広がりによって問題のある事業所をなくしていくことを連合高知全体の運動にしていく。

連合高知としても、障がい者の社会参画を進める観点から教育や移動の権利の確立、雇用の課題などについて労働組合として具体化していかなければと考えている。また、障がい者の雇用促進と雇用後の合理的配慮が権利として認められる環境づくりをできる範囲で取り組みたい。

### 第18回統一地方選挙の取り組みについて〔推薦決定予定候補者〕

＜高知県議会議員選挙＞

□高知市選挙区

坂本　茂雄（60歳 現職３期 自治労組織内）　武政　重和（40歳 新人）

前田　　強（31歳 新人 民主党公認）

□四万十市選挙区

石井　　孝（41歳 新人 自治労組織内）

□土佐清水選挙区

橋本　敏男（56歳 新人）

□高岡郡選挙区

大野　辰哉（46歳 新人 自治労組織内）

＜高知市議会議員選挙＞

近藤　　強（61歳 現職５期 情報労連組織内 民主党公認）

岡崎　　豊（58歳 現職４期 ＵＡゼンセン組織内）

田鍋　　剛（54歳 現職２期 自治労組織内）

岡崎　邦子（64歳 元職１期 自治労組織内）

長尾　和明（48歳 現職２期 民主党公認）

門田権四郎（66歳 現職１期 日教組組織内）

清水　　修（51歳 現職１期 電力総連組織内）

竹内ちか子（62歳 現職２期）

深瀬　裕彦（56歳 現職２期 自治労推薦）

＜宿毛市議会議員選挙＞

松浦　英夫（64歳 現職２期 社民党公認）

＜土佐町議会議員選挙＞

和田　　勇（73歳 現職８期 社民党公認）

＜田野町議会議員選挙＞

河田　角栄（42歳 現職２期）　※以降の推薦については、直近の執行委員会等で行うこととする

連合高知災害ボランティア第Ｉ期養成講座

## 活動の基礎知識を習得

連合高知は、高知市勤労者交流館で２回に分けて「災害ボランティア第Ｉ期養成講座」を開催した。この講座は「連合高知 緊急災害支援ボランティアネットワーク運営要綱」に基づいて行われたもので、受講した組合員はボランティア活動に関わる基礎知識や災害ボランティアセンターの運営に関するロールプレイ、救命救急などを熱心に受講した。

10月11日の第１講座では、高知県ボランティア・NPOセンターによる座学が行われ、被災者の支援に関わるニーズや災害ボランティアセンターの仕組みなどを教わった。講師からは「被災者は時間の経過や被災地の地域性、高齢者世帯など被災者の属性によってニーズが多様になる」ことなどボランティア活動の多様性が解説された。

午後には全体を

２グループに分けて、それぞれが“災害ボランティアセンター役”と“ボランティア役”を交互に担当し、ボランティア派遣に係るマッチングの運営訓練を行った。また、４班に分かれて班ごとに被災地ニーズへの対応に関する事例による「ボランティアとしての対応のしかた」という頭を悩ますロールプレイに取り組み、その検討結果を発表し合った。

２回目の講座は11月29日に行なわれ、救命救急の基本である心肺蘇生方法やＡＥＤの使用方法、止血方法、ロープワークを消防救急隊員から教わった。心肺蘇生方法では、傷病者が「普段通り呼吸しているのかどうか」ということが心肺蘇生を行う重要な判断になることや、とにかく迅速に胸骨圧迫を行うことが大事との指導を受けた。

受講者は、人形を相手に実践さながらの実技をおこないながら、胸骨圧迫のコツを習得した。また、ロープワークでは、荷造りや係留などに役立つロープのつなぎ方を数種類教わった。

2014年連合高知ユースラリー

# 深まる仲間意識

連合高知青年・女性委員会は10月18日、「2014年連合高知ユースラリー」を行なった。この催しに各構成組織から青年・女性38人が参加し、「職場をこえた仲間づくり」を合言葉にアイスブレイクやグループ討議、レクリエーションを通じて懇親を深めた。

ユースラリーをはじめるにあたってまずは参加者の緊張をほぐすため、アイスブレイクから入った。司会者から出される「5人のグループをつくってください」などの要求に困惑しつつも、皆が笑い声を飛ばしながらゲームに熱中した。

続いて行われたグループ討議では、参加者をランダムに振り分けてグループをつくり、各自の職場紹介や労働組合での取組み、プライベートでの情報交換など、様々な意見交換が行われた。

グループ対抗のレクリエーションでは、「絵描き伝達リレー」や「ジャンケンリレー」、「風船割りゲーム」などをグループでお互いが“仲間意識”を深めながらにぎやかにプレーした。

## ファミリーフェスタ2014

### 選手と“腕だめし”？

連合高知は高知市営球場で10月25日、ファイティングドッグスの選手による野球体験イベント『ファミリーフェスタ２０１４』を開催した。当日、天気が心配されたが、曇り空の合間に太陽が覗くまずまずの天候のもと、選手と楽しい一日を過ごした。

野球教室では、バッティングや遠投、ストラックアウト、球速測定のコーナーで〝腕だめし〟もしつつ大人から子どもまでにぎやかにアドバイスに耳を傾けながら楽しんだ。

また、特設ブースでは、ＪＣＭさんのご協力により「ものづくり教室」が行われ、子どもたちはソーラーカーなどプラモデルづくりに励んだ。

■連合高知第51回地方委員会
　□日　時　2015年２月17日（火）13：30～
　□場　所　高知共済会館
■連合高知2015春季生活闘争闘争開始宣言集会
　□日　時　2015年２月17日（火）18：00～
　□場　所　丸ノ内緑地